

♪ ひなまつり特別イベント ♪

日 時：2月22日（土）10：～12：30

場 所：中丸コミセン

共 催：中丸地区自治会・青少年育成東海村民会議中丸支部

協 力：東海村食生活改善推進員連絡協議会

イベント内容

清水中丸地区自治会長の挨拶を頂き、イベントが開始されました。



清水地区自治会長の挨拶の様子

① 中丸小リコーダークラブ演奏

6名でリコーダー（バス・テナー・アルト・ソプラノ）の合奏をしていただきました。ベースが入って音がふくよかで響きが良く、リズムカルでのりのりの気分になりました。これからのご活躍を願っています。ありがとうございました。



中丸小リコーダークラブの演奏の様子（ケーブルテレビJWAYの取材もありました。）

② 東海マジシャンクラブ実演

マジシャンとは、奇術を演じる人、またはそれをする職業である。手品師、奇術師ということもあります。奇術もさることながら衣装が素晴らしかったです。演じる前から期待が膨らんできました。よかったです、そして楽しかったですよ……



マジシャンクラブ実演の様子

③ 鍵盤ハーモニカ演奏

鍵盤ハーモニカは、楽器の一種で、ハーモニカと同じく金属のリードを呼気で鳴動する鍵盤楽器です。ピアノ同様の鍵盤を備えるが、ハーモニカの一種です。

今回は、ジャズ風の演奏していただき、体が自然に動きました。凄いテクニックですね。聞きほれました。また聞きたいです。ありがとうございました。



鍵盤ハーモニカの演奏の様子

④ ハンドベル演奏

片手で持って軽くふるだけで音が出ますので、キッズからシルバーまで幅広い年齢の方がお手軽に鳴らすことができます。大切なのはリズム感です。ピアノの鍵盤を一人ひとりが受け持ち音を奏でます。リズムと音量などが全体として協調させることが重要と感じました。演奏は1台のピアノが音を出していたように聞こえました。また、音を止めるときはベルを胸やテーブルに押し付けることも分かりました。全員が曲の風景を共用していたように感じました。素晴らしかったです。次回もよろしくお願いします。



ハンドベル演奏の様子

⑤ふるさとかるた：本多班長が読み手です。長時間お疲れ様です。



かるたの様子（思っていたより、多くの子供たちが参加してくれました。）

⑥各ブースの様子を写真で示します。



奥側：ポップコーンエリア 手前：甘酒エリア（両方無料提供です。）



チラシ寿司（200円）及び豚汁（100円）提供場所



飲食スペース（食堂風です、ごみ箱なども準備されています。）



東海村食生活改善推進員連絡協議会から 13 名の方々の参加を頂き、朝早くからチラシ寿司や豚汁の調理してもらいました。ありがとうございます。感謝申し上げます。



「ふるさとかるた」会場の様子（和室1）、3グループできるようにセットしました。



「かるた」終了後、昔懐かし、駄菓子をお子
さんたちにお渡ししました。

中丸コミセン ひなまつり

村内一のひな壇飾り!!

期間 2/2(日)~3/2(日)

《ひな祭り特別イベント》

日時: 2月22日(土) 10:00~12:30

場所: 中丸コミセン

・内容

- ・中丸小リコーダークラブ 10:05~10:25
- ・東海マジシャンズクラブ 10:35~10:55
- ・鍵盤ハーモニカ 11:05~11:25
- ・ハンドベル演奏 11:35~12:00
- ・ふるさとかるた 10:20~

・販売

- ・チラシ寿司..... ¥200(11時~)
- ・豚汁..... ¥100(11時~)
- ・ポップコーン..... 無料
- ・甘酒..... 無料

※児童は上ぐつを持ってきてください。

共 催：中丸地区自治会/青少年育成東海村民会議中丸支部
協 力：東海村食生活改善推進員連絡協議会
問合せ先：電 話 287-2128 287-3158

「中丸コミセンひなまつり」実施要領

◆ ひな壇飾り「村内一のひな壇飾り」

期 間：令和7年2月2日（日）～3月2日（日）

準備の様子や「ひな壇飾り」は後述します。

◆ ひなまつり特別イベント

日 時：2月22日（土） 10：～12：30

場 所：中丸コミセン

共 催：中丸地区自治会・青少年育成東海村民会議中丸支部

協 力：東海村食生活改善推進員連絡協議会

● イベント内容

- ・ オープニング：清水地区自治会長・10:00～
- ・ 中丸小リコーダークラブ・・・・・・・・10:05～10:25
- ・ 東海マジシャンクラブ・・・・・・・・10:35～10:55
- ・ 鍵盤ハーモニカ・・・・・・・・11:05～11:25
- ・ ハンドベル演奏・・・・・・・・11:35～12:00
- ・ ふるさとかるた・・・・・・・・10:20～

● 販売

- ・ チラシ寿司・・・・・・・・・・・・・ ¥200（11時～）→300食準備
- ・ ト ン 汁・・・・・・・・・・・・・ ¥100（11時～）
- ・ ポップコーン・・・・・・・・・・・・・ 無料
- ・ 甘 酒・・・・・・・・・・・・・ 無料

◆ 時変え室

- ・ ふるさとかるた：和室1
- ・ リコーダークラブ：和室2
- ・ 鍵盤ハーモニカ：会議室1
- ・ マジシャンクラブ：会議室2
- ・ ハ ン ド ベ ル：多目的ホール2
- ・ 一 般：多目的ホール1
- ・ 村民会議・自治会：多目的ホール控室

◆ ひな壇飾り作業

令和7年2月1日（土）9:30～11:35

本日は、21名の方々の参加をいただきました。仲田センター長の挨拶に続き、作業を始めました。

● ひな壇組立キット、雛人形、緋毛氈、金屏風やつるし雛等を会場に搬入

・ ひな壇組立作業

雛飾りを図書閲覧コーナー（写真①）に設置するため、ひな壇組立キットの組み立てを開始しました。これがかなり難航しました。



写真①：ひな壇設置場所（朱色部：書閲覧コーナー）



写真②：仲田センター長が昨年度のひな壇飾りの写真を参照し、ひな壇の設置スペースや組立順序などの説明があり、早速、組立作業を始めました。ひな壇の組立は、精通した方がいなく、大変でした。ジグソーパズル100ピースをトライするようでした。

でも、昨年度、経験された方もいて、なんとか、ひな壇が組みあがりしました。

◆ ひな壇の組立及びひな人形飾りの様子を以下に紹介します。



写真③：組立キットをパーツの名称・番号を参照して、向かって右側から始めました。早速、この板は底か、いや中間の支え板じゃないかなど意見がありました。多くの船頭さんがいる中、少しずつ形になっていきました。



写真④：先に底板を決めた方がいいよね・・・うん、そうですね・・・？



写真⑤：右側（4列目）の組立が順調です。これで、3列目も順次行けそうです・・・・・・



写真⑥：大分出来上がってきました。いまは、2列目を組立中です。結構大きいひな壇です。ビスが足りないのでは？ メスネジが木製のベースから取れていない状態と、一か所メスネジ取り付けの木製のベースが割れているのでそれぞれ補修が必要です。



写真⑦：苦労しましたが、皆さんの協力でひな壇が完成しました。👏👏👏
できれば、分かりやすい組立手順書があれば良いと感じました。

・つるし雛の飾り付け（ご婦人方中心で飾っていただきました。）



写真⑧：多目的ホールへ向かう廊下の右側の壁に飾り付けました。これだけあると豪華絢爛です。



写真⑨：和室の手前の壁に豪華な着物を飾りました。取り付けが上手くいかず、センターの本城さんに対応して頂きました。助かりました。

◆ ひな壇組立及びひな人形飾りに戻ります。(緋毛氈で覆います)



写真⑩：ひな壇を**緋毛氈**（ひもうせん）で覆います。ひな壇に上がる場所に注意しながら画鋏で留めていきます。ひな壇が見違えるように変わりました。両脇も同様に。

緋色とは、あかね草（温帯アジア原産の草）で染められる赤の中でも最も鮮やかで、紫色に次ぐ高貴な色とされています。**赤は活力、生命力を表す太陽の色。そして、赤には魔除け、厄除けの意味があります。**



写真⑪：いよいよ、内裏雛等の飾りです。金屏風を背景に上から2段は内裏雛です。続い

て、三人官女、五人囃子、隨身等々です。良い感じになってきましたね。雪洞はないの？



写真⑫：飾りも終盤です。見栄えも良く、豪華です。皆さんご苦労様です。うーん良く飾れたね。お子様の安全・健康・幸福を祈願します。そうそう、そうですよね。



写真⑬：ひな壇かざりが完成しました。皆様お疲れさまです。明日、2月2日（日）から3月2日（日）まで一般公開です。また、2月22日（土）にひな祭り特別イベントがありますのでご協力よろしくお願ひします。3月3日（月）に片付けもあります。この写真に写っていませんが、他に4名の方が参加しました。



写真⑭：完成したひな壇飾り（うーん！素晴らしい・・・・・・・・）

●雛（ひな）飾りとは

平安時代の頃、貴族の間では「ひいな人形」を用いて雛遊びをしたり、また穢（けがれ）・悪霊を仮託（かたく：他の物事を借りて言い表すこと。）される人形を作り、その人形に供物を捧げ、これを川や海に流すという習慣があった。

それらの風習が何時頃から明らかでないが、3月3日に行われる雛祭りとなったと言われている。

雛祭りは内裏雛（だいらびな：天皇・皇后をかたどった男女一對の雛人形）を中心に、さまざまな雛人形や雛道具を飾り、**女子の成長と幸せを願って行う催事（さいじ：特別な催しごと）**である。3月3日の節供（せつく：季節の変わり目にあたって祝いを行う日を指す）ばかりでなく、婚礼の際、あるいは婚礼後の初節供などにも催される。

●雛人形を飾る意味

昔は乳幼児の死亡率が高く、子供が無事に成長できるかどうかは、神のみぞ知る事柄でした。そのため穢（けがれ）れを移す身代わりの人形を子供の枕元へ置いて、災厄を祓う風習がありました。身代わりの人形には立ち姿をした「天児*（あまがつ）」と、這っているような姿をしたぬいぐるみの「這子（ほうこ）」があります。

* 形代（かたしろ）として幼児のそばに置き、災厄（さいやく）を移し負わせる人形。後世は、幼児のはう姿をかたどった這子（ほうこ）をもいう。